

学び

子育て

高齢者

スポーツ

くらし

相談

ごみ

健康

もっと知ろう
もっと学ぼう 郷土のこと!!

**物知りおじさんの
ふるさと情報**

耳より 今月の物知りおじさん
にしおせいじ 西尾精二さん
(岩村町)89歳
郷土読本編集委員会責任者

連載・第7回

飛び領の現地を自主巡回

岩村藩の本領は二万石。途中で松平乗賢が幕府老中に抜きされて三万石となった。加増地は駿河(静岡県藤枝市)と西美濃(県内)に五千石拝領された。

駿河領の歴史は、地元にある慈眼寺の柴田住職が歴史研究会を立ち上げ、冊子にまとめられた。一方、西美濃領は県内でありながら誰も現地を調べた人がいないままであったので、筆者が以前、一念発起して家内と一緒に一年半にわたり数回、巡回をした。西美濃領の代官所、菩提寺跡は岐阜経済大学の近く、大垣市の三津屋北方にあった。そこには岩村藩土三十一基の石塔が無縁仏で放置され「岩村の罰当たり」の風評のあることも知った。西美濃領には紅葉で有名な谷汲山があり、ハヤシライスの考案者といわれる早矢仕有的や、岩村城を再建すると言った大野伴睦が出身者である。筆者の場合は、先人が調べた資料の不足分の「掘り起こし」おじさんとして、調べたことを郷土読本に書き留め、後々に伝えるようにしている。

●10月の休館日							●11月の休館日						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1		1	2	3	4	5	
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
30	31												

※11日(水)、12日(木)は祝日振替、27日(水)は図書整理のため休館
※4日(金)、24日(木)は祝日振替、17日(水)は図書整理のため休館

9月の来館者数 27,684人 (前年同月 34,131人)

9月の貸出冊数 22,936冊 (前年同月 25,563冊)

司書のおすすめ本

毎月第3日曜日は「恵那市読書の日」
10月は16日です

『棄国ノススメ』
増田幸弘/著
新評論 < 293.4 / マ >

日本を捨て、外国に暮らすという事はどういうことなのでしょう。その国で生きていくことの良い面も、悪い面も語られています。外国で暮らすという優雅に聞こえますが、そこにあるのは日常の生活だということを感じました。

『落し紙以前』
斎藤たま/著
論創社 < 383.9 / サ >

現在のトイレトーパー以前は「落し紙」という質の悪い紙が使われていました。それ以前は、紙の代わりに何を使っていたのでしょうか。日本各地のトイレにまつわる話を集めたものです。昔の人のトイレ事情が垣間見えます。

『パンダ外交』
家永真幸/著
KADOKAWA メディアファクトリー < 489.5 / イ >

日本の動物園で人気のパンダ。野生のパンダは中国にしか生息していません。今では中国と各国の友好として使われているパンダですが、その裏にはいろんな事実が隠れているようです。パンダから中国の事情が見えるかもしれません。

11月のイベント

おはなし会
□とき 毎週火曜日午前10時半～、毎週土曜日午後2時～
□ところ 中央図書館おはなしの部屋
恵那市読書の日イベント
ミニ茶会
□とき 11月20日(日) 午前10時～午後2時
□ところ 悠楽館(飯地町)
□内容 ブックトークなど

□ところ 中央図書館和室
司書おすすめ館内展示
□とき 11月20日(日)
□ところ 中央図書館びっくあっぷおコーナー近く
飯地コミセン図書室振興
天空の里ブックカフェ
□とき 11月20日(日)
□ところ 悠楽館(飯地町)
□内容 ブックトークなど

新しくいった本
(8月13日～9月14日受け入れ新刊約273冊)

●一般書
アンマーとぼくら(有川浩/著) ★直木賞候補作家の新作
ポラースター(海堂尊/著) ★「このミステリーがすごい!」大賞受賞作家の新作
おおあたり(畠中恵/著) ★人気シリーズ「しゃばけ」の新作
コンビニ人間(村田沙耶香/著) ★第155回芥川賞受賞作品
運命の25セント(シドニー・シェルダン/作) ★アカデミー脚本賞受賞作家の新作
白熱!「中学読書プロジェクト」(赤坂千恵子/編著)
絵本といっしょにまっすぐまっすぐ(鈴木潤/著)
『不思議の国のアリス』の分析哲学(八木沢敬/著)
解決したがる男共感がほしい女(内藤諄人/著)
10分で読む日本の歴史(NHK「10min.ボックス」制作班/編)
人間の匂(大村智/著)
18歳からの投票心得10カ条(石田尊昭/著)
子どもの「書か力」は家庭で伸ばせる(高濱正伸/著)
ニュートリノ小さな大発見(梶田隆章/著)
日本人はこうして歯を失っていく(日本歯周病学会/著)
世界をつくった6つの革命の物語(スティーブン・ジョンソン/著)

●児童書
お月さまのこよみ絵本(千葉望/文) なつめやしのおむこさん(市川里美/作)
風雲しょうが丸(川端誠/作)
ベネロペのたのしいハロウィン(アン・グットマン/原作)
あららありゃりゃ(小長谷清実/文) ひょっこりひつこ(佐々木まき/作)
ぐやんよやん(長谷川楳子/文) ドライバーマイルズ(ジョン・パーニンガム/作)
とらねことらとなつのおみ(あまきみこ/作)
エイハブ船長と白いワジラ(マヌエル・マルソル/作絵)
おやすみぞうちゃん(三浦太郎/作) ちかてつふしぎ(溝口イタル/絵)

恵那市中央図書館ウェブサイトから全ての最新刊本がチェックできます

図書館サポーターえな 活動紹介

11月27日(日)に開催する「恵那朗読フェスティバル」は、朗読を愛する市民ボランティアの実行委員会により運営、実施します。このフェスティバルは今年で9年目の開催です。当日の会場設営や進行も、委員が工夫をしながら行います。毎年、子どもから大人まで幅広い世代の皆さんが発表します。たった5分の朗読発表ですが、作品選びや練習、他の方の朗読を聞くのも楽しいものです。聞きに来るだけでも、朗読発表に応募するのも、実行委員になるのも大歓迎。参加をお待ちしています。

伊藤文庫 図書館
TEL 25-5120

展示・特設展示
「手紙の日」特設展示
11月23日(水)は「いいふみ」

「手紙の日」です。手紙に関する本を集め「手紙の日」特設展示を行います。ぜひ、ご覧ください。

□展示期間 10月28日(金)～11月23日(水)(休館日を除く)

「あなたはイヌ派?ネコ派?」
11月22日(火)は「わんわんにゃんにゃん」で「ペットたちに感謝する日」です。今月の「びっくあっぷお展」は、それにちなんで動物が出てくる本やかわいい写真集、ペットの飼い方の本などを集めてみました。かわいい動物たちに、心も体も癒やされてみませんか。

□展示期間 10月28日(金)～11月28日(水)(休館日を除く)

11月16日(水)(休館日を除く)「歴史の道を訪ねて?」
黒瀬街道「ミニ企画展」
今回のミニ企画展では、「歴史の道を訪ねて」の第二弾として、黒瀬街道を取り上げます。黒瀬街道は、江戸時代に恵那市北部の中野地方内を通り、八百津の黒瀬湊から苗木までを結んでいました。単に人や物資が行き交う道だけではなく、文化や生活もつながっていた街道。それにまつわる出来事を振り返り、当時のしづみや、ぜひ、ご覧ください。

□展示期間 10月28日(金)～12月28日(水)(休館日を除く)

学校巡回司書からのお知らせ

秋は何といっても「読書の秋」。10月、11月は小中学校でも、図書館祭りや読書祭りといったイベントを企画している所が多くあります。本にまつわるクイズをしたり、本に関係する発表会をしたり、外部の方を招いて読み聞かせをしてもらったりする学校もあります。図書委員を中心に、準備や当日の進行など大忙しです。

学校巡回司書も、秋はブックトークに大忙し!例えば、小学校1年生の国語で学ぶ『うみのかくれんぼ』の授業で、海の中のかくれんぼをしている生き物を、本を通して紹介し、なぜかくれんぼするのか、本を通して一緒に考えます。3年生の『すがたを変える大豆』や4年生の『ごんぎつね』、その他の学年でも、授業に関係する本を紹介することで、より理解が深まるよう支援しています。